

Kodama Kazuhisa

児玉 和久

ジーアンドエスエンジニアリング
社長



九州・沖縄を担うトップ群像

MEMO

- 1969年4月22日生まれ
- 福岡市出身
- 福岡大体育学部卒

大学卒業後、地元建設会社勤務を経て95年に同社入社。営業部長、常務、専務などを経て2013年1月から現職。学生時代は剣道の強豪校で名選手として鳴らし、何度も全国大会制覇した。座右の銘は「敵は己なり」。武士道に通じる精神を生き方の軸として大切にしている。

「デジタル専門人材の採用を本格化」



2023年に創業50周年を迎えたが、これを一つの通過点として、道路や橋梁、河川など、暮らしを支える構造物の企画・設計などの社会インフラ整備を通じて、“国を守り、国を創る、ことに努めていく。

近年は、ベテランから若手への技術の継承を掲げて、若手人材の採用を軸に、社内体制の整備に注力してきた。さまざまなチャンネルを

用いた採用活動は、徐々にだが成果も出始めており、社内で若手人材が占める比率も高まってきている。引き続き、社内教育の環境整備とともに、チームワークを重視した働き方へのシフトを進めていく。

一方、建設業界でも急速に進むデジタル化についても対応力を高めている。当社はドローンやレーザースキャナーを活用するなどい

ち早く建設DXを実践してきたが、i-ConstructionやBIM/CIMなど、建設DXを支援するシステムを導入した。大きな投資となったが、他社に先駆けてノウハウの蓄積と実績を重ねることで、安定的な受注を目指していく。併せて、建設技術者ではなく、デジタルに精通した専門人材の採用についても本格化していく。